高速道路交通警察隊 速度取締り指針
（令和６年上半期）

令和5年12月
奈良県警察本部交通部
高速道路交通警察隊

レフキーくん

追越車線を走り続けると、速度が上がり危険です。また、通行帯違反にもなります。

☆☆☆　高速隊の速度取締り重点路線　☆☆☆

名阪国道	西名阪道	京奈和道（大和区間）
規制速度 60・70km/h	規制速度 80Km/h	規制速度 80Km/h

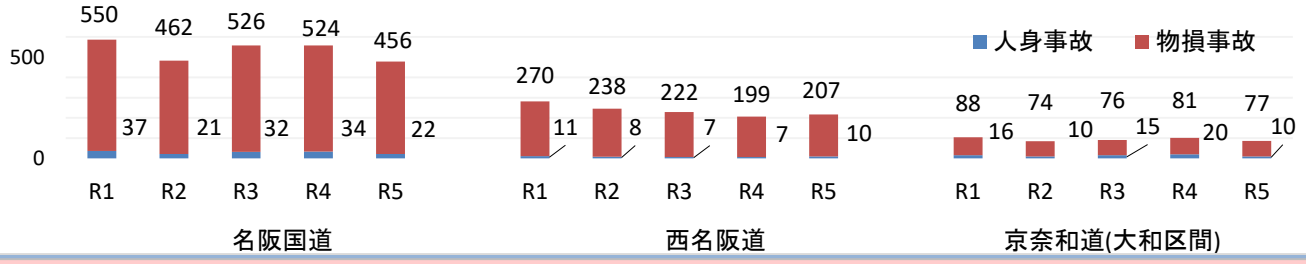
○ 天理IC～福住ICは　60Km/h
○ 福住IC～神野口ICは　70Km/h
○ 神野口IC～三重県境は　60km/h

★　重点路線以外でも、各種取締りを行います。

重点路線における事故実態

※ 令和5年は10月31日までの概数です。

路線別事故発生状況　（R1～R5　※ R5は10.31まで）



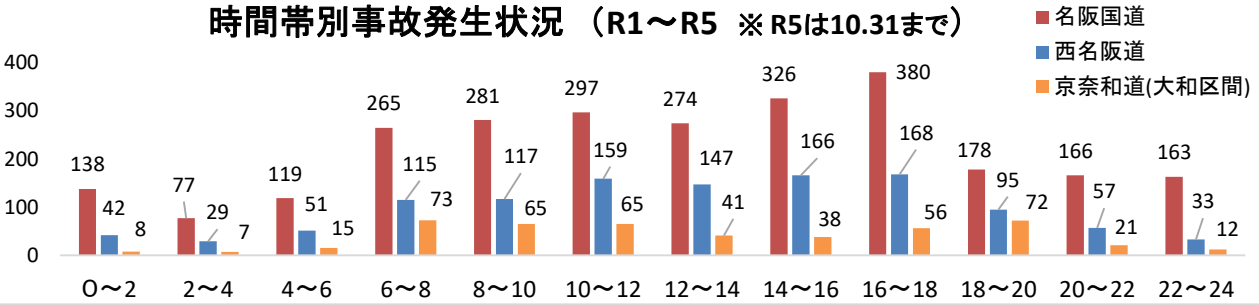
【交通事故実態】

☆　高速隊管内の事故発生状況は、死亡事故3件（前年同期比＋1件）、人身事故67件（前年同期比±0件）、物件事故925件（前年同期比 ＋85件）となっています。

☆　名阪国道で発生した事故のうち、その割合として単独事故が約65.0%(うち落下物事故が約52.1%)、追突事故が約12.8%となっています。
　また、名阪国道における事故全体の約37.7%が、福住IC～天理東IC間（上下線）となっています。

☆　西名阪道で発生した事故のうち、その割合として、単独事故が約48.4%（うち落物事故が約30.5%）、SA・PA内の事故が約26.7%、追突事故が約15.2%となっています。

時間帯別事故発生状況　（R1～R5　※ R5は10.31まで）



【各路線の事故多発時間帯】

☆　名阪国道では、総発生件数2664件中、380件（14. 3%）が**16～18時**の時間帯で1番多く発生しています。

☆　西名阪道では、総発生件数1179件中、168件（14. 2%）が**16～18時**の時間帯で1番多く発生しています。

☆　京奈和道(大和区間)では、総発生件数473件中、73件（15. 4%）が**6～8時**の時間帯で1番多く発生しています。

今後の方針

◎　速度抑制や事故時の被害軽減を図るため、事故の発生が特に顕著である名阪国道を中心に、パトカー等による追尾測定や可搬式速度違反自動取締装置（通称：可搬式オービス）を活用した速度取締りを推進します。

◎　速度違反以外では、携帯電話使用等違反、通行帯違反、積載物の転落防止措置義務違反等の取締りも推進します。

高田バイパスにおける取締りの状況